

【事例-3】土砂災害特別警戒区域内 でのモニタリング



急傾斜地上方に感太郎を設置



宅地に面する急傾斜地



通信基地局の設置状況

【特徴および適用目的】

「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に指定されている急傾斜地の前面および背面には宅地が存在し、豪雨時には斜面崩壊の危険性が高まります。そこで、あらかじめ3段階（注意・警戒・避難）の管理基準値を設定し、各段階の管理基準値を超過した際には関係者に警報メールを発信するシステムを構築し運用しました。なお、計測値が管理基準値内におさまった際にも警報解除メールも発信しました。

【適用現場の特徴】

- ・ 斜面の勾配（角度）：30°
- ・ 斜面状況（自然斜面, 切土のり面等）：自然斜面
- ・ その他特徴：表層崩壊

【適用効果】

24時間リアルタイム遠隔自動モニタリングによる住民の早期避難の実現